

「充実した毎日のために」

青木秀幸（日医工株式会社 仙台支店営業グループ第三チーム）

「今の私は充実した毎日を送っています！」

入社して早3年。全てが新鮮でわからないことが多い中スタートしたMR活動ですが、多くの先生方、薬剤師の方とお話をさせていただき、拙いながらも医薬情報や自社製品を適正かつ安全に処方していただけるような情報の提供を行っています。患者さんの為に地域医療に従事されている皆さんに対して、微力ではありますが、貢献していると実感できるこの仕事に日々やりがいを感じています。

MRとしての活動で、そう思えるような体験をさせていただいたことを紹介したいと思います。

「これからは地域で連携を取りながら医療を提供していく時代だよ。その中で地域の薬剤師の先生を集めて研修会をやりたいと思うんだけど、協力してくれるかな？」

ある日、上司と同行訪問した病院で、担当させていただいている薬剤師の先生から研修会を開催してみないかというお話をいただきました。私が担当しているエリアは宮城県で、ちょうどこの時期は東日本大震災を受けた直後のことでした。多くの医療機関が一時的な休業を余儀なくされ、数少ない稼働している病院や開業医も、建物のいたるところが損傷した状態の中で患者さんの手当てに追われていました。訪問する先々で見る光景は胸を痛めることの連続でした。この病院も例外ではなく、あちこちの鉄骨が剥き出しになった状態にもかかわらず、治療を受けられなくて困っている県外の患者さんも受け入れながら対応していました。

「先日、自分の故郷の石巻に戻って見たら全部無くなってしまった・・・。でも、おれにはここの薬剤師としての責任があるからまた戻ってきたんだ。」

そうおっしゃった時の先生の顔からは使命感を感じると同時に、ほんの些細なことでいいから私にもなにかできないだろうかという気持ちが湧いてきたことを覚えています。当時の私はMRとして活動して半年、右も左もわからない状況でした。研修会を引き受けたからといって、難なくこなせる自信は全くありませんでした。しかしその反面、このような大変な状況に置かれても患者さんのために治療にあたっていらっしゃる先生を見て、自分にもできることがあれば少しでも力になりたいと強く思いました。また相談に乗っていただいた先輩・同僚が後押ししてくれたことも私にとって大変心強かったです。

そこから研修会に向けた準備が始まりました。震災時における薬薬連携（病院の薬剤部と町中のかかりつけ薬局間での連絡、連携）の話を演題として立て、少しでも多くの先生に聞いていただきたいと案内に回りました。訪問する先で、私の準備不足や案内の不備等で先生方からご指摘を受けることもありましたが、今の状況をたくさんの先生に知っていただきたい、そのことが少しでも日々の治療に役立って、患者さんに貢献できればとの思いで活動しました。今になって考えると、これほどまでに目的のため、懸命に物事に取り組んだことは初めてだったのではないかと思います。そしてあっという間に研修会の日を迎えました。

震災直後から患者さんの治療にあたるスライドや動画が流れた際は、うなずく先生、食い入るように見ていらっしゃる先生など、各々の先生がそれぞれの思いを持って聞いていらっしゃるようでした。約50名の先生に参加いただき、研修会は終了しましたが、この研修会は私にとって大きな経験となりました。参加いただいた先生から、「日頃の連携の重要性を再認識できた。」、「こういう研修会は大変勉強になる。今後も開催してほしい。」、「少ない情報・資源の中で、工夫しながら治療している姿は参考になった。今後活かしていけるような取り組みがたくさんあって良かった。ありがとう。」と声を掛けていただきました。

一つの目標に向かって活動し、やり遂げることで、微力ではありますが、医療業界に貢献できることの喜びと充実感を得た瞬間でもありました。また、この研修会を成功させることができたのは私だけの力ではなく、こういった機会を与えてくださった先生、講演を引き受けてくださった先生、参加してくださった先生、準備の手伝いをしていただいた先輩方など、多くの人の繋がりがあったからだと思います。

この経験を通じ、私の日々行っているMRとしての活動が、医師や薬剤師の先生、治療を受ける患者さんの役に立てているということに自信を持てるようになりました。そしてこの仕事をこれからもずっと続けていきたいと思っています。10年後、20年後も、「今の私は充実した毎日を送っています！」と胸を張って言えるような活動をしている自分が、私が目指すこれからのMR像です。